



～見ようとしたものが見えている～

校長 藤田 優

学校にかわいっ子たちの元気な声が戻ってきました。夏休みの川井町内会の盆踊りでは、川井音頭を踊っている子どもたちもいました。運動会で繰り返し踊ってきたことが生きている光景でした。

「見ようとしたものが『見えている』」

8月24日（土）に第20回目となる都岡中発地球環境クリーン作戦が行われました。学区の、普通通路として歩いている道をグループごとに周り、ゴミ拾いをするというボランティア活動です。昔はとんでもなく多量のゴミがあったそうですが、今年は45ℓのゴミ袋に10袋くらいだったと報告されました。

日頃歩いているときに「あ、ごみが落ちているな。あれ、ここにも」など注視して歩くことはないでしょう。クリーン作戦では、「ごみが落ちていないかな」と視点をもって歩いていたから、見過ごすことなく10袋分もごみを見つけることができたのです。

「何を視点に見ていくか」

これはある意味当たり前のことです。見ているものが見えているのではなく、見ようとしたものが、心に引っかかるものとして見えるのです。そのことは学校での子どもたちへの支援についても同様のことが言えます。

教育という営みは、子どもたちの心の中で結晶していくものです。それぞれの学習で目指す資質や能力がどのように育ってきているのか、視点をもって子どもたちの学びの様子を見とり、支えていかなければなりません。

学習に限らず、様々な生活場面でうまくいかない子どもたちもいます。困り感はどこからきているのか、何に困っているのか要因を見つけようという思いで、手の差し伸べ方を考えていくことも必要です。

「ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは、目に見えない」と『星の王子さま』でサン・ペクジュベリが語っていた言葉を大事にしたいものです。

生活のリズムを整えて、後期の生活に向けて規則正しい日々を積み重ねていっていただければと思います。これからのご支援ご協力もよろしくお願いいたします。

2年 トウモロコシの皮むき体験

7月2日(火)に川井地域で穫れたトウモロコシの皮むき体験をしました。1本1本、丁寧に皮をむきました。皮をむいたトウモロコシは、給食で全校に配られました。

「自分で皮をむいたトウモロコシはおいしい!」と、友達と話しながら味わっていました。



4年 西谷浄水場見学

7月12日(金)に西谷浄水場へ見学に行きました。ダムから水がどのように流れてきて、飲み水になっているか、問題意識をもちながら見学していました。子どもたちは、浄水場に流れてきた水がきれいになっていく様子を見て、驚いていました。

私は浄水場に行って、自分がいつも飲んでいる水が川の水だったと初めて知りました。川からきた水を浄水場に引きこみ、塩素を混ぜて飲める水にします。

「ろ過するとき、砂を使って大丈夫なのかな?」と思ったけど、砂が入らないようにしてあることを見て安心しました。これからも水を大事にしたいです。

1組



私は、浄水場に見学に行って、浄水場の方が案内してくださって、いろいろな話をしてくださいました。私が一番おどろいたことは、一日に作る水の量が、小学校のプール2000ばい分ということです。こんなに多くの水が作れるなんてすごいなと思いました。とても楽しく見学することができてよかったです。

2組



5年 おもしろ科学たんけん工房

わたしは、ブーメランを作るのは簡単なことだと思っていました。ですが、バランスが難しくて全然戻ってきませんでした。

お土産にまた作れる紙をもらったので、また作って次は戻ってくるように挑戦したいです。

1組

7月18日(木)、おもしろ科学たんけん工房の
方々に、ブーメランの作り方を教えて頂きました。また、
投げたブーメランが返ってくる理由も丁寧に教えてくださり、
子どもたちも「そういうことか」と、興味をもって話を聞いていました。

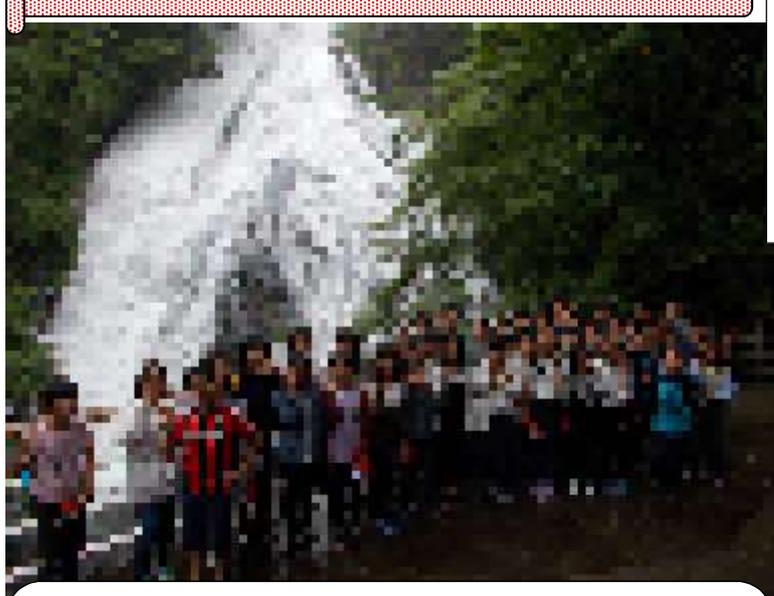


ぼくは、たんけん工房をやってみてどうしてブーメランが返ってくるのか不思議でした。でも、飛行機と同じような理由でブーメランは飛ぶんだということが知れてよかったです。実際に投げてみてしっかり返ってきたときは、とても嬉しかったです。

2組



6年 日光修学旅行



1日目で見学した戦場ヶ原は、想像していたよりも広く、すごいなと思いました。2日目で見学した中では、三仏堂の三体の大仏が印象に残っています。それぞれに意味が込められていて、説明を聞いたなら納得しました。

日光に行ったことで色々なことが知れ、思いやりや協力、けじめなど6年生として必要なことも得られました。この経験をむだにせず、どんどん生かしていきたいと思います。

1組

7月15日(月)16日(火)、日光修学旅行へ行きました。小雨の降る中でしたが、華嚴の滝や戦場ヶ原など日光の豊かな自然にふれたり、日光東照宮や二荒山神社などの江戸時代の歴史的文化遺産を間近に見たりしました。班行動を通して、友達との関わりに広がりや深まりが見られたり、お互いに協力し合うことの大切さに気付いたりすることができました。



世界遺産の東照宮に行きました。建物一つ一つが細かい設計で、動物や人の絵が描かれていました。昔の人も細かい設計などをしていたんだなと思いました。あと家康の墓も見ました。家康の墓の前に動物がいました。その動物たちが家康を守っている感じでした。

学んだことを社会などでも生かしたいです。思い出に残る修学旅行でした。

2組